

ATEXフロートバルブ

世界中の製薬・化学プラントで多く採用



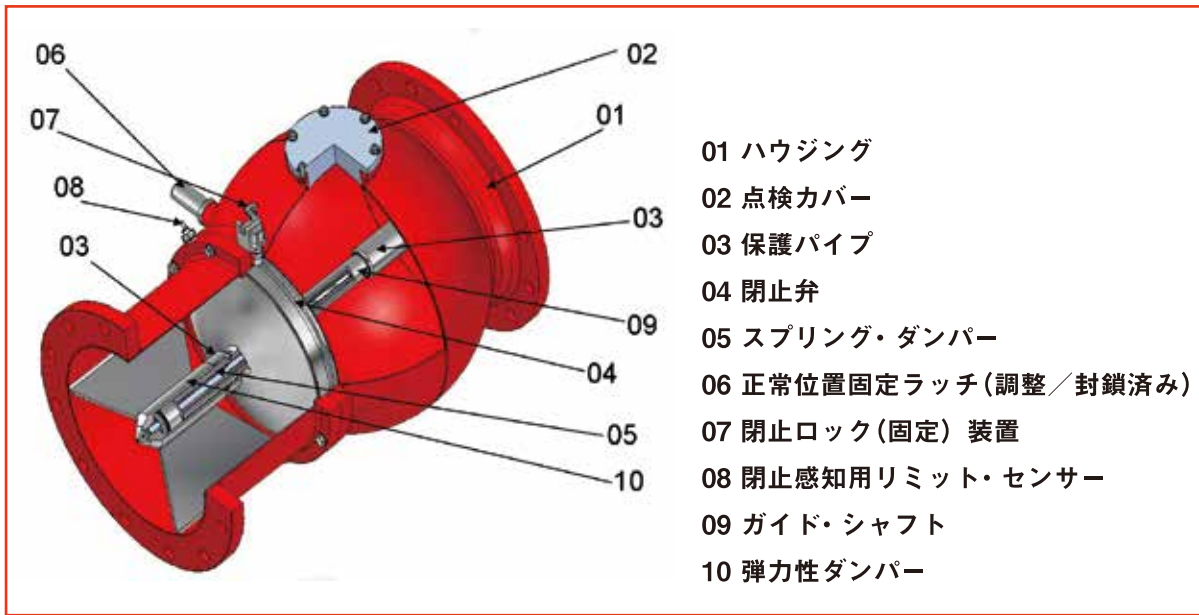
従前のようなフロート弁の遊動による
乱流・圧損、誤作動を根本的に改善!!

主な特徴

- ダクトにおける爆燃の伝播を遮断する受動型遮断弁として改良を重ね開発。
- 爆発時、風速によって開位置固定ラッチが外れフロート弁が軸方向に移動し、閉位置に固定され伝播を遮断。
- ガasketは使用しません。
- 耐圧型の受動型遮断弁。
- フロート弁の開、閉ラッチがされています。
- 操業中のフロート弁を通過する粉流の圧力損失、乱流はわずか。

主な構成部品

(フロート弁は閉じた位置にて表示)



仕様表

径		DN	50	80	100	150	200	250	300	400	500
		inch	2"	3"	4"	6"	8"	10"	12"	16"	20"
動作条件	最小爆発圧力	mbar	50								
	最大許容爆発圧力 (操業温度20℃において)	bar abs	12 (ただし高温環境においては、より低値になります)								
気流許容速度	気流が爆発進行方向と同方向	m / s	10-30								
	気流が爆発進行方向と逆方向	m / s	35								
有機粉塵	最大KST	bar*m*s ⁻¹	300								
	最小離隔距離	m	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	最大離隔距離	m	12	12	12	12	12	12	12	12	12
ガス及び ベイパー	最大KST	bar*m*s ⁻¹	100								
	最小離隔距離	m	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	最大離隔距離	m	8	8	8	8	8	8	8	8	8
ハイブリッド (ガスはL. E. L 範囲外)	最大KST	bar*m*s ⁻¹	300								
	最小離隔距離	m	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	最大離隔距離	m	12	12	12	12	12	12	12	12	12

ご連絡先

ATEX爆発防護株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー7階

TEL: 03-6457-1311 FAX: 03-6457-1341

<http://atexjapan.com>